企画展　「子どもたちの手紙からみる、戦争と暮らし展」

会　　期：2020 年 7 月 18 日（土）～8 月 30 日（日）　〈22 日間〉
　　＊新型コロナウイルス感染拡大防止のための
　　臨時休館（8 月 1 日～8 月 16 日）が生じた。
会　　場：企画展示室
観 覧 料：無料
展示点数：137 点(64 件)
入場者数：967 人

【内容】

昭和 10 年代に伊深村（現在の美濃加茂市伊深町）から出征した人、その家族や関係者からの手紙類を受けた伊深親子文庫では、昭和 54(1979)年の『慰問文集』以来、『戦争の記録』として、平成 29(2017)年の最終巻まで、計 40 冊を綴ってきました。なお、「慰問文」とは、戦場の兵士を慰労するため、国内に暮らす人々が現地に送った手紙のことをいいます。

『慰問文集』を読むと、当時の子どもたちが「兵たいさん」ばかりでなく、出征した「オトウサン」や「ヲヂサン（地元のおじさん？）」のことを具体的に思いながら、身近な風景（作物や農作業、飼育する牛馬、学校生活など）にも触れつつ、記述していることがわかります。

手紙が戦地へ送られて約 80 年を迎える今、当時の子どもたちによるものに注目することで、当時の「日常」や人々の思いをみつめることができました。

【関連事業】

□ミュージアムトーク

7 月 19 日（日）　①11:00～12:00　参加者 14 人
　　②13:30～14:30　参加者 17 人
7 月 22 日（水）　①11:00～12:00　参加者 9 人
　　②13:30～14:30　参加者 6 人　　2 日間　合計 46 人

＊当館学芸員による展示解説に加え、みのかも「声のドラマ」の会・矢島良子氏、鈴木由美氏により『慰問文集』の朗読を行った。

＊佐野綾目氏（元伊深親子文庫代表）から文庫活動等について解説していただいた。

□ミュージアムフォーラム

「なぞるとずれる　Trace and Slip　『慰問文集』再々発行プロジェクト」

伊深村（現在の美濃加茂市伊深町）の子どもたちが昭和 14 年に送った慰問文集を再々発行するプロジェクトに関連して、制作への思い、それに伴う調査からみえてきた当時の暮らしの姿についてもお話しいただくことができました。

8 月 22 日（土）　13:30～15:00
講　師：NPO 法人 記録と表現とメディアのための組織 remo
会　場：緑のホール
参加料：無料
参加者：31 名

【展示品】

№.	資料名	時期	点数	内容	所蔵者	備考
1	「初日に輝く」	昭和 13 年	1	戦争画。新愛知新聞の附録（昭和 13 年 1 月 1 日付）。北蓮蔵 作。万里の長城、日本軍、国旗の付いた歩兵銃が描かれる。	館蔵	歴史資料 H11677
2	大阪朝日新聞	昭和 14 年	1	昭和 14 年 11 月 21 日付	館蔵	歴史資料 H11677
3	朝日新聞	昭和 19 年	1	昭和 19 年 10 月 7 日付	館蔵	歴史資料 H11677
4	支那事変戦地書簡集	昭和 12-14 年	1	入営出発時の歓送お礼、所属する部隊への入隊報告など	館寄託	信友自治会№. 2925
5	信友区長宛て書簡	昭和 18 年ほか	18	無言凱旋の報告・村葬の会葬お礼など	館寄託	信友自治会№. 1221
6	稲辺の歴史	平成 19 年	1	「昭和前期　恐慌から戦争へ」『過酷な農作業・農作貧乏』	館蔵	
7	常盤木	昭和 59 年	1	「信仰心のすばらしさと偉大さ」春見三市（p. 20-21）	館蔵	
8	蜂屋の歴史	昭和 53 年	1	「不況と戦争の中を」。昭和 2～12 年頃の様子（p. 374-377）	館蔵	
9	出征軍人壮行会	昭和 12 年	1	山之上小学校下で撮影	館蔵	歴史写真№.308
10	出征者武運長久祈願祭	昭和 10 年頃	1	山之上町十二社神社で撮影	館蔵	歴史写真№.316
11	大政翼賛会太田町支部推進員錬成講習会	昭和 15-16 年	1	太田町で撮影	館蔵	歴史写真№.1006
12	出征	昭和 10 年代	1	太田本町で撮影。渡辺栄一氏の出征に伴うもの	館蔵	歴史写真№.5
13	入隊	昭和 16 年頃	1	太田駅前にて撮影。渡辺敏秋氏の入隊に伴うもの	館蔵	歴史写真№.85
14	徴兵検査	昭和 10 年代	1	太田。加茂郡役所にて撮影	館蔵	歴史写真№.35
15	国防婦人会の製縄奉仕	昭和 15 年	1	『市民のための美濃加茂の歴史』掲載	館蔵	歴史写真№.775
16	防空演習	昭和 18 年	1	太田町役場にて撮影。太田町中町婦人会による訓練	館蔵	歴史写真№.73
17	家庭防火訓練	昭和 18 年頃	1	太田駅前トキワ洋裁にて撮影	館蔵	歴史写真№.182
18	国防婦人会	昭和 18 年頃	1	蜂屋	館蔵	歴史写真№.903
19	慰問文集（表紙）	昭和 14 年	1	伊深尋常高等小学校発刊、活版印刷にカラーで（いわゆるガリ版）、こより	館蔵	歴史資料 H19934。伊深親子文庫 戦争の記録　資料　（書簡他）
20	慰問文集（巻頭言　p. 1-4）	昭和 14 年	1	伊深小学校職員一同　巻頭言	館蔵	
21	慰問文集 p5-6	昭和 14 年	1		館蔵	
22	慰問文集 p7-8	昭和 14 年	1		館蔵	
23	慰問文集 p9-10	昭和 14 年	1		館蔵	
24	慰問文集 p11-12	昭和 14 年	1		館蔵	
25	慰問文集 p13-14	昭和 14 年	1		館蔵	
26	慰問文集 p15-16	昭和 14 年	1		館蔵	
27	慰問文集 p17-18	昭和 14 年	1		館蔵	
28	慰問文集 p19-20	昭和 14 年	1		館蔵	
29	慰問文集 p21-22	昭和 14 年	1		館蔵	

30	慰問文集 p23-24	昭和 14 年	1		館蔵	
31	慰問文集 p25-26	昭和 14 年	1		館蔵	
32	慰問文集 p27-28	昭和 14 年	1		館蔵	
33	慰問文集 p29-30	昭和 14 年	1		館蔵	
34	慰問文集 p31-32	昭和 14 年	1		館蔵	
35	慰問文集 p33-34	昭和 14 年	1		館蔵	
36	慰問文集 p35-36	昭和 14 年	1		館蔵	
37	『皇軍慰問誌　加茂郡だより』	昭和 13 年	1	加茂郡部会発行。伊深小児童、三和小児童による慰問文、三和村青年団・女子青年団による銃後の暮らしぶり（国防献金、勤労奉仕）について報告するもの	館蔵	複製。歴史資料 H19934
38	『明光　第 3 号　慰問号』	昭和 13 年	1	伊深村青年団・女子青年団発行。伊深住民による慰問文を特集して掲載	館蔵	歴史資料 H19934
39	伊深小学校百年史	昭和 48 年	1	「図画、綴り方　裁縫、工作」（p.61）終戦前後の授業内容、慰問文について掲載されている。	館蔵	歴史資料 H19934
40	招集用状箱	昭和 10 年代	1	旧伊深村役場で、吏員(りいん：職員）や使丁(してい)が使用した。「招集令状」「招集令達」を交付する「使丁心得書（全７か条）」の墨書あり	館蔵	民俗資料 4808。旧伊深村役場庁舎にて保管されていたもの。箱内に関連資料（招集令状ほか）が収められていた。
41	慰問文集	昭和 54 年	1	伊深親子文庫発刊。表紙は画用紙。本紙は洋紙（パルプ）にモノクロで謄写印刷（ガリ版）、ホチキス製本	館蔵	歴史資料 H19934。伊深親子文庫　戦争の記録　資料　（書簡他）
42	戦争の記録 2～32	昭和 55 年-平成 22 年	31		個人藏	
43	戦争の記録　別冊	平成 22 年	1		個人藏	
44	戦争の記録 33～39	平成 23 年-平成 29 年	7		個人藏	
45	鉄筆ほか制作用道具	昭和-平成	1	親子文庫で、編集作業に使用したもの	個人藏	
46	伊深親子文庫たより	平成	一式	原稿類	個人藏	
47	伊深親子文庫活動紹介記事		一式	新聞記事等	館蔵	
48	伊深親子文庫看板	昭和-平成	1	旧伊深役場庁舎内にあった同文庫の看板。庁舎の入口に設置されていた。	伊深民俗講究所蔵	
49	渡辺家の手紙	昭和 10 年代	5	家族の姿や暮らしぶり（豊作だった柿、食料や衣服の配給など）に関して。出征した長男：譲氏と父母のやり取り。	館蔵	歴史資料 H19934。整理№2-27、2-43、2-50、4-5、4-12、
50	渡辺家の手紙	昭和 14 年頃	2	家族の姿（入営する弟への助言など）に関して。出征した長男：譲氏と父や次男：麟一氏のやり取り	館蔵	歴史資料 H19934。整理№1-1、1-18
51	森井家の手紙	昭和 13 年	5	子どもの成長や様子（進路や学校の成績、書初めなど）に関して。出征した父森井愛次氏が妻へ宛てたもの。子：長男の宏、長女の辻子。	館蔵	歴史資料 H19934。整理№11、16、21、30、31

52	書方成績綴	昭和 16 年頃	1	「軍用犬」「少年兵」ほか習字	館蔵	歴史資料 H11670。「書き方」作品として
53	図画作品	昭和 16 年頃	3	「戦闘機」「軍艦」「行軍」をモチーフとするもの	館蔵	歴史資料 H11671。児童による戦争画
54	図画作品	昭和 16 年頃	4	「（空襲に対する）防火」啓発、「増産で勝ち抜く」、「世界地図」	館蔵	歴史資料 H11671。児童による戦争画
55	国語資料	昭和 16 年頃	3	「国史」「神勅」の書写。「大東亜建設」「戦陣衛生」「戦闘」などの読み方・書取り	館蔵	歴史資料 H11672。添削指導あり、テスト答案類
56	国語読方力だめし	昭和 16 年頃	1	「だんだんはげしくなる大東亜戦争」短文作成	館蔵	歴史資料 H11672。テスト答案類
57	ぬりえ	不明	8	郵便年金、小児保険、簡易保険に伴うもの。「護レヨ祖国　備ヘヨ保険」が標語として挙がる。	館蔵	歴史資料 H8591。未使用品
58	伊深小学校卒業児童集合写真	昭和 12 年	1	写真パネル	美濃加茂市立伊深小学校蔵	
59	伊深小学校卒業児童集合写真	昭和 13 年	1	写真パネル	美濃加茂市立伊深小学校蔵	
60	伊深小学校卒業児童集合写真	昭和 14 年	1	写真パネル	美濃加茂市立伊深小学校蔵	
61	伊深小学校卒業児童集合写真	昭和 15 年	1	写真パネル	美濃加茂市立伊深小学校蔵	
62	『慰問文集』	昭和 14 年	一式	写真パネル	館蔵	
63	慰問文集を読む Tracing papers	令和２年	1	『慰問文集』について、当時の執筆者や関係者が慰問文を朗読し（20 本）、インタビューに答えた映像作品	制作　AHA!［Archive for Human Activities/人類の営みのためのアーカイブ］ カラー、フル HD（1920×1080）音声あり（ステレオ）49 分 41 秒（繰り返し上映）	
64	広報みのかも	平成 27 年	1	特集「佐野一彦の伊深日記に見る昭和 20 年」	館蔵	
計			137			

【アンケート結果】（全45枚）

選択設問から

①展示の資料の見やすさ（配置・明るさなど）、わかりやすさ（解説パネルなど）にご満足いただけましたか？

・満足	16
・ほぼ満足	19
・ふつう	7
・やや不満	2
・不満	0
計	44

②展示の資料から満足感（感動・発見・知的刺激など）が得られましたか？

・満足	13
・ほぼ満足	25
・ふつう	5
・やや不満	0
・不満	1
計	44

③この展示を他の人に伝え、来館をすすめたいと思いますか？

・大いに	23
・少し	16
・どちらともいえない	4
・あまりすすめたくない	0
・すすめたくない	1
計	44

自由記述から

・美濃加茂市の書（ママ）を知ることができて良かった。小学校の図工で飛行機が船を攻撃しているところを描いていて、びっくりした。
・伊深出身者なので、昔の風景等思い出します。亡き父のことも思い出しました。慰問文集に叔母の名前が（たぶん）ありました。
・今回の展示を拝見して、戦争の中、子供達、大人達が戦争が正しいと思わされている、教育されている事に胸が痛みます。しかし、一生懸命生活をしている事もうかがえます。このような作品を制作していただいてありがとうございました。当時の新聞も、日本の戦争を正しく伝えてはいません。今日このような戦争を起こしてはならないと思います。
・展示していただいた方に感謝します。
・懐かしく拝見いたしました。ただ撮影の年月日、場所など記載があればもっと懐かしさを感じたのではないでしょうか。終戦後体験談をビデオで放映されていましたが、できれば（CCNET）で放映できないかお尋ねします。